



平成27年8月10日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成28年3月期第1四半期決算のお知らせ

T&D保険グループ(T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の平成28年3月期第1四半期(平成27年4月1日～平成27年6月30日)の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績(生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、1兆6,432億円、前年同期から15.1%の減少。
- 保有契約高は、60兆5,022億円、前年度末から0.2%の増加。
- 解約失効高は、9,564億円、前年同期から0.1%の減少。

損益関係(T&Dホールディングス連結)

- 経常収益は、5,587億円、前年同期から4.9%の減少。
 うち保険料等収入は、4,318億円、前年同期から10.7%の減少。
- 経常利益は、437億円、前年同期から5.6%の減少。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、214億円、前年同期から20.6%の減少。

通期業績予想(T&Dホールディングス連結)

- 通期業績予想の修正はありません。

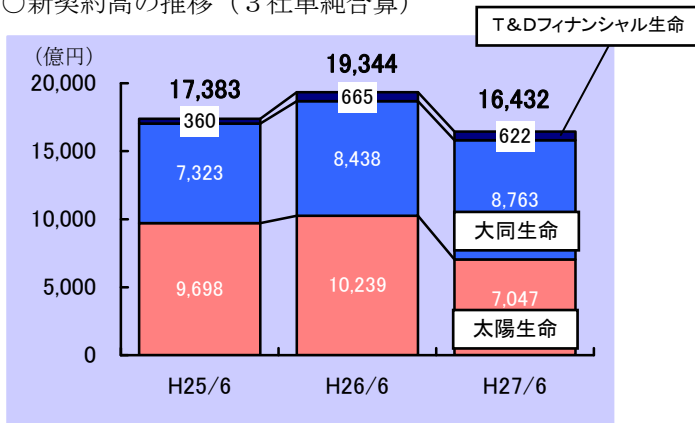
以上

【お問合せ先】

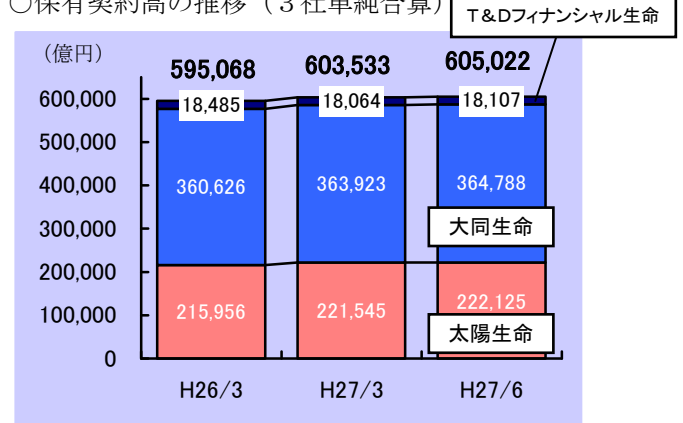
株式会社T&Dホールディングス	広報部	川俣・勝呂	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	田中	TEL 03-3434-8840

〔契約業績（個人保険・個人年金保険）〕

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



（単位：億円）

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
新契約高	16,432	2,911 減 (15.1%減)	7,047	3,192 減 (31.2%減)	8,763	324 増 (3.8%増)	622	43 減 (6.6%減)
新契約年換算保険料	338	56 減 (14.2%減)	102	56 減 (35.6%減)	193	13 増 (7.5%増)	42	12 減 (23.4%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	68	21 増 (44.9%増)	37	13 増 (57.3%増)	31	7 増 (32.2%増)	0	0 増 (1,143.4%増)

（注）新契約高には転換による純増加高を含んでおります。

（単位：億円）

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
保有契約高	605,022	1,488 増 (0.2%増)	222,125	580 増 (0.3%増)	364,788	865 増 (0.2%増)	18,107	43 増 (0.2%増)
保有契約年換算保険料	14,508	44 増 (0.3%増)	6,499	14 減 (0.2%減)	6,844	60 増 (0.9%増)	1,164	1 減 (0.2%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,727	28 増 (1.7%増)	994	11 増 (1.2%増)	702	17 増 (2.6%増)	30	0 減 (2.5%減)

（単位：億円）

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
解約失効率			1.47%	0.09ポイント低下	1.68%	0.03ポイント上昇	1.02%	0.39ポイント低下
解約失効高	9,564	14 減 (0.1%減)	3,261	107 減 (3.2%減)	6,118	169 増 (2.9%増)	184	76 減 (29.2%減)

（注）解約失効率は、年換算していません。

■ 3社単純合算

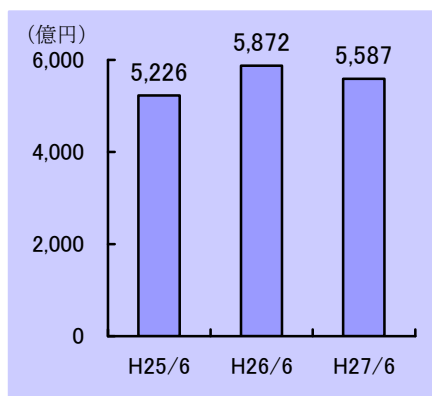
- ・新契約高は、1兆6,432億円、前年同期から15.1%の減少。
- ・保有契約高は、60兆5,022億円、前年度末から0.2%の増加。
なお、大同生命の「Jタイプ※」および「Tタイプ※」を加算した新契約高は1兆8,349億円、前年同期から10.4%の減少。また、同じ基準でみた保有契約高は、62兆4,281億円、前年度末から0.5%の増加。
※定期保険と並んで主力商品である「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」および「Tタイプ（無配当就業障がい保障保険）」（平成26年9月発売）は、普通死亡の保障がないため、重大疾病保険金額および就業障がい保険金額は上表の新契約高・保有契約高・解約失効高には計上していません。

■ 各社の状況

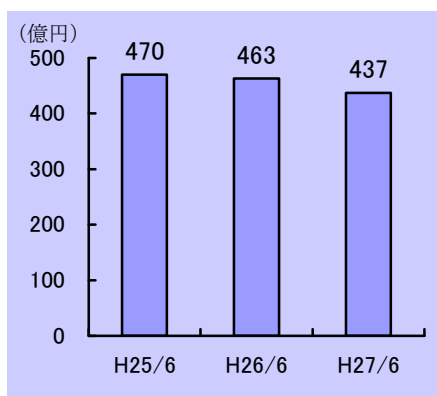
- ・太陽生命の新契約高は、7,047億円、前年同期から31.2%の減少。
なお、分割払の医療・介護系商品の販売増加により、第3分野新契約年換算保険料は前年同期から57.3%増加、同保有契約年換算保険料は994億円、前年度末から1.2%の増加。
また、保有契約高は、22兆2,125億円、前年度末から0.3%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、8,763億円、前年同期から3.8%の増加。
これは主に、主力商品の個人定期保険の販売増加による。
また、保有契約高は、36兆4,788億円、前年度末から0.2%の増加。
なお、「Jタイプ」および「Tタイプ」を加算した新契約高は、1兆680億円となり、前年同期から11.5%の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、38兆4,047億円となり、前年度末から0.7%の増加。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、622億円、前年同期から6.6%の減少。
また、保有契約高は、1兆8,107億円、前年度末から0.2%の増加。

[損益関係]

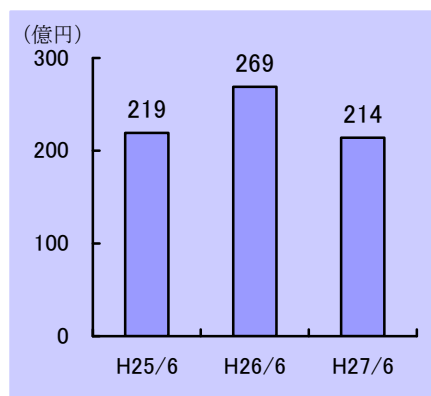
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○親会社株主に帰属する四半期純利益



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
経常収益	5,587	285 減 (4.9%減)	2,745	93 減 (3.3%減)	2,317	125 増 (5.7%増)	650	300 減 (31.6%減)
うち保険料等収入	4,318	519 減 (10.7%減)	2,008	381 減 (16.0%減)	1,815	22 増 (1.2%増)	487	161 減 (24.9%減)
うち資産運用収益	1,032	208 増 (25.3%増)	544	131 増 (32.0%増)	428	73 増 (20.7%増)	66	22 減 (25.4%減)
うち利息及び配当金等収入	700	14 増 (2.1%増)	358	15 減 (4.2%減)	330	30 増 (10.2%増)	17	0 減 (2.0%減)
うちその他経常収益	236	26 増 (12.4%増)	192	156 増 (429.3%増)	74	29 増 (66.3%増)	95	115 減 (54.8%減)
経常費用	5,149	259 減 (4.8%減)	2,546	129 減 (4.8%減)	2,083	131 増 (6.7%増)	646	245 減 (27.5%減)
うち保険金等支払金	3,980	140 増 (3.7%増)	2,138	353 増 (19.8%増)	1,259	50 増 (4.1%増)	578	263 減 (31.3%減)
うち責任準備金等繰入額	243	568 減 (70.0%減)	0	539 減 (100.0%減)	426	13 増 (3.2%増)	0	0 減 (10.1%減)
うち資産運用費用	247	167 増 (208.9%増)	130	73 増 (127.6%増)	89	49 増 (124.0%増)	30	19 増 (187.4%増)
経常利益	437	26 減 (5.6%減)	199	36 増 (22.2%増)	234	5 減 (2.4%減)	4	54 減 (92.9%減)
特別利益	0	0 減 (46.2%減)	—	1 減 (100.0%減)	132	132 増 (—)	—	— (—)
特別損失	56	44 増 (368.8%増)	49	42 増 (614.3%増)	7	2 増 (60.6%増)	0	0 増 (125.3%増)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	80	5 増 (7.2%増)	46	3 増 (9.0%増)	34	1 増 (4.7%増)	△0	— (—)
税引前四半期純利益	300	76 減 (20.3%減)	102	11 減 (10.2%減)	324	121 増 (59.9%増)	3	55 減 (93.9%減)
法人税等合計	86	20 減 (19.5%減)	29	2 減 (9.0%減)	91	37 増 (68.9%増)	0	17 減 (95.1%減)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	214	55 減 (20.6%減)	72	8 減 (10.7%減)	233	84 増 (56.6%増)	2	37 減 (93.4%減)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	737	52 増 (7.6%増)	413	58 増 (16.5%増)	332	22 増 (7.2%増)	△4	29 減 (—)
--------------------	-----	-----------------	-----	------------------	-----	-----------------	----	-------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は4,311億円（前年同期比10.8%減）です。
 3. 大同生命の特別利益には、太陽生命への不動産売却益131億円が含まれています。連結上は内部取引として消去されるため、損益に与える影響はありません。
 4. 特別損失（56億円）のうち、50億円は価格変動準備金への繰入（太陽生命：44億円、大同生命：5億円、TDF生命：0億円）です。
 5. 親会社株主に帰属する四半期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、四半期純利益を記載しております。
 6. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関して、資産運用収益から資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、5,587億円、前年同期から4.9%の減少。
これは主に、保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、4,318億円、前年同期から10.7%の減少。
- ・ **経常利益**は、437億円、前年同期から5.6%の減少。
- ・ **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、214億円、前年同期から20.6%の減少。
これは主に、T & Dフィナンシャル生命において終身保険に対応する金利スワップの会計上の損益が悪化したことや、太陽生命において価格変動準備金の超過繰入により特別損失が増加したことによる。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、2,745億円、前年同期から3.3%の減少。
これは主に、一時払商品の販売抑制に伴い保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、2,008億円、前年同期から16.0%の減少。
- ・ **経常利益**は、199億円、前年同期から22.2%の増加。
これは主に、キャピタル損益が増加したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、72億円、前年同期から10.7%の減少。
これは主に、価格変動準備金の超過繰入により特別損失が増加したことによる。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、2,317億円、前年同期から5.7%の増加。
これは主に、資産運用収益が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1,815億円、前年同期から1.2%の増加。
これは主に、個人保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、234億円、前年同期から2.4%の減少。
これは主に、新契約高の増加に伴う初期負担の増加による。
- ・ **四半期純利益**は、233億円、前年同期から56.6%の増加。
これは主に、特別利益が増加したことによる。

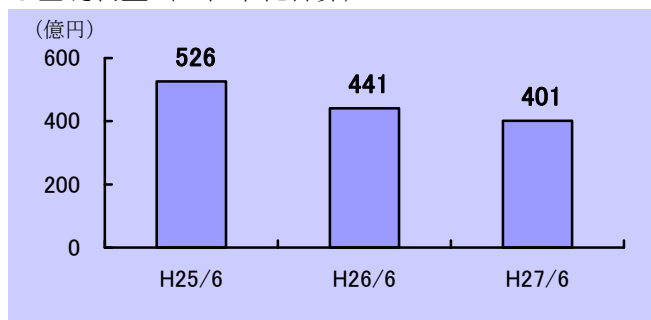
■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、650億円、前年同期から31.6%の減少。
これは主に、保険料等収入および責任準備金戻入額が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、487億円、前年同期から24.9%の減少。
これは主に、一時払終身保険の一部販売休止に伴う販売減少による。
- ・ **経常利益**は、4億円、前年同期から92.9%の減少。
- ・ **四半期純利益**は、2億円、前年同期から93.4%の減少。
これは主に、終身保険に対応する金利スワップの会計上の損益が悪化したことによる。

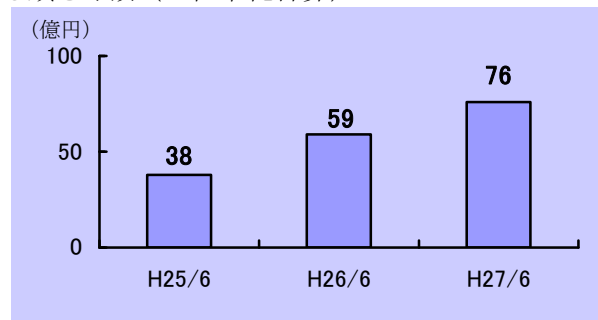
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや額>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
基礎利益	401	39減 (9.0%減)	131	39減 (23.0%減)	257	6増 (2.7%増)	13	7減 (35.7%減)
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	76	17増	20	9減	63	27増	△7	0減

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、401億円、前年同期から39億円の減少。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、131億円、前年同期から39億円の減少。
これは主に、一時払商品の保険料収入および利息及び配当金等収入の減少による。
順ざや額は、20億円、前年同期から9億円の減少。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、257億円、前年同期から6億円の増加。
順ざや額は、63億円、前年同期から27億円の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、13億円、前年同期から7億円の減少。
これは主に、変額個人年金保険の保有契約高減少に伴い最低保証責任準備金戻入額が減少したことによる。
逆ざや額は、7億円、前年同期並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率			964.0%	29.9pt 低下	1,317.6%	46.1pt 低下	1,314.2%	42.3pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	1,176.9%	43.8pt 低下	970.8%	30.3pt 低下	1,325.0%	46.5pt 低下		

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結ソルベンシー・マージン比率**は、1,176.9%。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、964.0%、前年度末から29.9ポイント低下。
これは主に、その他有価証券の評価差額の減少による。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,317.6%、前年度末から46.1ポイント低下。
これは主に、ソルベンシー・マージン総額は増加したものの、株価上昇に伴い資産運用リスクが増加したことによる。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,314.2%、前年度末から42.3ポイント上昇。
これは主に、変額個人年金保険の運用期間満了に伴い最低保証リスクが減少したことによる。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T&Dフィナンシャル生命(単体)	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
実質純資産	25,675	779 減	11,186	448 減	12,742	142 減	1,467	95 減

■ T&Dホールディングス連結

- ・連結実質純資産は2兆5,675億円、前年度末から779億円の減少。
これは主に、国内外の金利上昇に伴い3社の有価証券の差損益が減少したことによる。

■ 各社の状況

- ・太陽生命の実質純資産は、1兆1,186億円、前年度末から448億円の減少。
- ・大同生命の実質純資産は、1兆2,742億円、前年度末から142億円の減少。
- ・T&Dフィナンシャル生命の実質純資産は、1,467億円、前年度末から95億円の減少。

<有価証券差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
有価証券差損益	12,518	911 減	7,107	552 減	4,912	280 減	498	78 減
公社債	5,300	589 減	2,732	346 減	2,169	188 減	398	53 減
株式	4,390	410 増	2,506	195 増	1,883	215 増	—	—
外国証券	2,202	738 減	1,654	409 減	548	329 減	—	—
その他の証券	384	46 増	148	15 増	235	30 増	—	—
金銭の信託	99	24 減	—	—	—	—	99	24 減
買入金銭債権	140	15 減	63	7 減	76	7 減	—	—
土地等の差損益	266	106 減	75	0 増	190	107 減	—	—

(注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) > [概算値]

(注) 四半期の数値は一部簡易な計算前提等を用いて計算した概算値であり、第三者の検証も受けておりません。

(単位：億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
MCEV	約 23,638	約 658 増	約 8,916	約 230 増	約 13,598	約 530 増	約 986	約 28 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計		当第1四半期累計		当第1四半期累計		当第1四半期累計	
新契約価値	約 282		約 110		約 152		約 19	

(注) 前年同期の新契約価値は、T&D保険グループ全体(3社合計)が約240億円、太陽生命が約90億円、大同生命が約140億円、T&Dフィナンシャル生命が約0億円であります。

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、約2兆3,638億円、前年度末から約658億円の増加。
※Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(約2兆3,370億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(約267億円)」の合計額です。
新契約価値は、約282億円となり、前年同期から3社とも増加した。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、約8,916億円、前年度末から約230億円の増加。
新契約価値は、約110億円となった。
- ・ **大同生命のMCEV**は、約1兆3,598億円、前年度末から約530億円の増加。
新契約価値は、約152億円となった。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV**は、約986億円、前年度末から約28億円の増加。
新契約価値は、約19億円となった。

[平成28年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成28年3月期の通期業績予想は次のとおりです。(平成27年5月14日公表分から変更ありません。)
(単位：億円)

	平成27年3月期実績	平成28年3月期予想
経常収益	24,121	18,700 程度
経常利益	1,889	1,670 程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	942	780 程度

1株当たり年間配当金予想は25円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成28年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	8,500 程度	8,900 程度	2,300 程度
経常利益	790 程度	810 程度	70 程度
当期純利益	280 程度	550 程度	40 程度

(注) 連結と生命保険会社3社合計との差額は、3社以外の連結子会社ならびに連結会社相互間の調整等によるものです。

当第1四半期の業績をふまえ、太陽生命において業績予想の変更を行っております。

経常収益：8,200億円程度→8,500億円程度、経常利益：770億円程度→790億円程度、

当期純利益：270億円程度→280億円程度

なお、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の業績予想は変更ありません。

T&Dホールディングス連結の通期業績に与える影響は軽微であるため、通期業績予想は変更していません。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成28年3月期通期見通し

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,530 程度	570 程度	970 程度	△20 程度
保険料等収入	15,900 程度	6,600 程度	7,300 程度	2,000 程度
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	310 程度	110 程度	230 程度	△30 程度
新契約高	61,100 程度	23,700 程度	34,200 程度	3,300 程度
保有契約高	607,000 程度	222,200 程度	365,800 程度	19,000 程度
解約失効率 (%)		5.7%程度	6.7%程度	4.0%程度

- (注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。
2. 大同生命に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額および「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額を加算した契約高の見通しは、次のとおりです。
- 新契約高 : 4兆1,000億円程度
保有契約高 : 38兆8,900億円程度

当第1四半期の業績をふまえ、太陽生命において見通しの変更を行っております。

基礎利益：560億円程度→570億円程度、保険料等収入：5,400億円程度→6,600億円程度、

新契約高：2兆6,700億円程度→2兆3,700億円程度、保有契約高：22兆5,300億円程度→22兆2,200億円程度

なお、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の見通しは変更ありません。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以上